



# 議会だより

# たむら

2020  
第60号

令和2年2月1日発行



## — もくじ —

12月定例会のあらまし	2
13名の議員が市政を問う	5
各種お知らせ	13
各常任委員会活動報告	14
議会報告会の概要	16
シリーズ「市民の声」「若者の声」	18

1/12 田村市成人式



## 12月定例会のあらまし

令和元年12月定例会は12月2日から12月13日までの12日間にわたって開かれました。本田市長より条例の制定、条例の一部改正、工事請負契約、令和元年度各会計補正予算などの議案が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

### ●財産の無償貸付

企業のサテライトオフィス（※1）やテレワークセンター（※2）として活用するため、平成29年10月から無償貸付を行っている旧石森小学校について、貸付期間が満了することに伴う貸付期間を延長するためのものであり、原案のとおり可決しました。詳細は次のとおりです。

無償貸付する財産	船引町石森字館108番地（旧石森小学校）
貸付の相手方	東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 （株）J R 東日本企画 代表取締役社長 原口 幸
貸付期間	令和2年10月1日～令和5年3月31日



無償貸付する旧石森小学校

### ●指定管理者の指定

老人憩の家「針湯荘」及び田村市運動公園内体育施設等の指定管理者を次のとおり指定するもので、それぞれ原案のとおり可決しました。

施設名	指定管理者	期間
老人憩の家「針湯荘」	有限会社 慶慶飯店 代表取締役 片吉 慶吉	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日
田村市運動公園内体育施設等	フクシ・ルネサンスグループ 株式会社 フクシ・エンタープライズ 代表取締役 福土 昌	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日



老人憩の家「針湯荘」

田村市運動公園

※1 企業の本社・本拠地から離れた場所に、社員のライフスタイルを守るために設置されたオフィスのこと。

※2 在宅勤務の代替スペースやモバイルワークの拠点として利用するため、通信環境やセキュリティ等が整った施設のこと。

## 令和元年度補正予算

令和元年度一般会計補正予算、各特別会計及び各企業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決しました。主な予算額については、次のとおりです。

### 一般会計補正予算

補正額（補正後予算総額）	補正の主な内容（歳出）	
	事業名	補正額
47億303万8千円増 (402億6013万5千円)	東部産業団地整備事業	31億4619万3千円
	帰還環境整備交付金基金整備事業	11億4140万1千円
	農業災害復旧事業（台風19号災害関連）	1億7682万0千円
	公共土木施設災害復旧事業（台風19号災害関連）	1億572万0千円
	保健福祉施設整備事業	9500万0千円
	住宅応急修理給付金（台風19号災害関連）	4760万0千円
	屋内遊び場整備事業	2999万1千円
	公立学校施設災害復旧事業（台風19号災害関連）	2294万1千円
	都路町複合商業施設整備事業	2130万0千円

### 工事請負契約

令和元年11月28日に入札を執行し、仮契約となっていた下表の工事請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例の規定（予定価格1億5000万円以上）により、議会の議決を求めるものであり、それぞれ原案のとおり可決しました。詳細は、次のとおりです。

契約の名称	契約方法	契約金額	契約の相手方
船引清掃センター廃焼却施設解体工事	条件付き一般競争入札	3億800万円	富士工業株式会社 代表取締役 猪狩 恭典
汚泥再生処理センター建設工事	総合評価方式一般競争入札	11億2926万円	浅野アタカ株式会社 代表取締役 小川 暢也
東部産業団地街区2号線道路改良工事	条件付き一般競争入札	2億6037万円	矢部・西向建設特定JV 代表者 矢部工業株式会社 代表取締役 矢部 雄二
東部産業団地調節池設置工事（1工区）	条件付き一般競争入札	2億7115万円	矢部・西向建設特定JV 代表者 矢部工業株式会社 代表取締役 矢部 雄二
東部産業団地調節池設置工事（2工区）	条件付き一般競争入札	2億9700万円	本田・渡辺住建工業特定JV 代表者 株式会社本田工業 代表取締役 本田 俊市



船引清掃センター



汚泥再生処理センター建設予定地  
(大滝根水環境センター内)

# 12月定例会賛否一覧表

※意見が分かれた議案について掲載しました。

○：賛成 ●：反対

議案等名	会派名	議員名	議決結果	賛成 反対	市民net	政友会	声を	至誠会	改革	市民	無会派							
					たむら	会	きく会	会	未来	の会	安	石	木					
					菊	猪	白	遠	大	土	大	石	長	橋	安	石	木	
					地	瀬	石	藤	和	屋	橋	井	谷	本	瀨	井	村	
					武	明	高	正	田	省	幹	重	元	紀	一	忠	高	
					司	孝	司	徳	博	一	一	実	行	一	一	治	雄	
議案第110号 職員の降級に関する条例	原案可決	17：2	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第117号 令和元年度一般会計補正予算 (第4号)	原案可決	18：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第125号 指定管理者の指定について	原案可決	18：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第126号 指定管理者の指定について	原案可決	10：8	○	○	○	●	棄権	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●
議案第127号 議会議員の議員報酬、期末手当 及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決	18：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第128号 市長等の給与及び旅費に関する 条例の一部改正	原案可決	18：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第132号 令和元年度一般会計補正予算 (第5号)	原案可決	18：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

## 第2回臨時会

令和元年第2回臨時会が11月12日に開かれました。

市長より令和元年度各会計補正予算及び工事請負契約の議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。

### ● 東部産業団地街区3号線道路改良工事 請負契約

令和元年10月30日に入札を執行し、仮契約となっていた東部産業団地街区3号線道路改良工事請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例の規定（予定価格1億5000万円以上）により、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。詳細は、次のとおりです。

契約の名称	東部産業団地街区3号線道路改良工事
契約方法	条件付き一般競争入札による契約
契約金額	1億7600万円
契約の相手方	株式会社本田工業 代表取締役 本田 俊市



東部産業団地造成予定地

## 代表・一般質問

# 市政を問う！！

4名の方が代表質問、9名の方が一般質問しました。

市政全般について質問することが代表質問、様々な課題等について詳細に質問することが一般質問です。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。ここでは、全質問項目（下表）を分野ごとに掲載しておりますので、ご覧ください。

市政全般	代表	地域活性化対策について	大橋 幹一議員	P6
		次期「田村市総合計画」について	白石 高司議員	//
		行政と政治活動について	//	//
		市の出先機関における職員の配置状況について	遠藤 正徳議員	P7
	一般	本田市政ビジョンの実行力について	白石 勝彦議員	P8
		市役所業務の効率化について	渡邊 照雄議員	P10
田村市人口ビジョン並びに田村市地域創生総合戦略について		土屋 省一議員	//	

まちづくり	一般	空き家対策について	吉田 文夫議員	P8
		道の駅整備計画について	石井 忠治議員	P12

保健・福祉	代表	市民の健康増進について	菊地 武司議員	P7
		新市民病院計画について	//	//
		田村市子ども・子育て支援事業について	遠藤 正徳議員	//

産業・観光	一般	再生エネルギーの費用対効果について	白石 勝彦議員	P8
		田村市中小企業及び小規模企業振興基本条例について	二瓶恵美子議員	P9
		特産品と地域づくりについて	//	//
		イノシシ対策について	木村 高雄議員	//

安心・安全	一般	生活基盤を守る対策について	吉田 文夫議員	P8
		食の安全性について	木村 高雄議員	P9
		地方公共交通網形成計画について	土屋 省一議員	P10
		ヤスデ対策について	半谷 理孝議員	P11
		危険木対策について	//	//

災害関連	代表	災害対策について	大橋 幹一議員	P6
		台風19号被害と市民生活について	菊地 武司議員	P7
		台風19号からの復旧・復興について	遠藤 正徳議員	//
	一般	台風19号の災害対策について	吉田 文夫議員	P8
		台風19号によるフレコンバッグ流出について	二瓶恵美子議員	P9
		台風19号について	木村 高雄議員	//
		防災・減災・復興について	渡邊 照雄議員	P10
		災害時避難所対策について	//	//
		防災対策の強化整備と見直しについて	土屋 省一議員	//
		台風19号被害対策について	照山 成信議員	P11
		台風19号による被害について	半谷 理孝議員	//
		台風19号被害と復旧・復興について	石井 忠治議員	P12

教育	代表	教育行政について	大橋 幹一議員	P6
	一般	小学校の令和2年度からの英語教育について	照山 成信議員	P11
		教育行政の検証と新年度に向けた取り組みについて	石井 忠治議員	P12

※代表質問や一般質問の方の欄にQRコードが掲載されています。スマートフォンなどで読み取ると、ユーチューブの録画映像にアクセスできますのでご活用ください。



声をきく会  
白石 高司議員

商工業・農業・産業育成の活性化は。

計画を見直し、施策を展開します。



## 次期「田村市総合計画」について

**Q** 市の財政基盤を充実させるためには「税収を上げる」ことが基本と考えるが、そのためには「地域産業の活性化」が重要である。具体的には行政が使うお金は、「地元志向」が基本と考えるが、商工業・農業・産業育成の活性化について伺う。

**A** (市長)  
農業については、田村市総合計画に基づき、「人・農地プラン」の策定の推進を施策の大きな柱として、持続可能な力強い農業の実現に向けて施策を展開しています。商工業及び産業育成については、「工業団地の整備、促進による企業誘致」などを施策の柱として、企業誘致や新たな産業の創出、育成を実施しています。次期、田村市総合計画の検討はこれからですが、現計画の評価や関係機関と協議・策定する中小企業及び小規模企業振興基本条例に基づく計画内容との整合を図りながら、市の商工業、農業、産業育成が進むよう計画を見直し、活性化施策を展開していきます。



田村市産業団地

## 行政と政治活動について

**Q** 「桜を見る会」の報道のような、政治家の後援会と行政の関わりが話題になっているが、後援会や支持政党に所属しているかどうかによって、市の工事入札に参加できないことや道路工事が早期にできるなどのことはないか。また、市政運営に市長個人の後援会組織や支持政党など支持基盤等の違いで、差別していることはないか伺う。

**A** (総務部長)  
市内には、政治資金規正法に基づき届出のあった政治団体のうち、特定の候補者名が確認できる後援会組織が7団体存在していますが、合併以降、後援会組織と行政が関わる事案は把握していません。

その他  
・自然災害について  
質問を行いました。

大規模災害への対策は。

防災訓練・避難訓練などを実施します。



改革未来たむら  
大橋 幹一議員

## 災害対策について

**Q** ①台風による被害箇所の復旧スケジュールは。  
②大規模災害への対策は。

**A** (副市長)  
①国道、県道、市道及び河川については、道路の通行止め解消を優先に復旧工事を進め、その他の被害箇所も早期の復旧に努めます。また、国の災害復旧工事の対象とならない農道、水路等の農業用施設は、市単独事業により、優先度・危険度の高い箇所から修繕工事等を実施していくこととなります。  
②自主防災組織に対する防災活動講座の周知や防災訓練・避難訓練の実施などにより、防災意識の向上を推進するとともに、地域防災計画等の検証、「田村市防災マップ」の改訂などを行います。



市の防災訓練

## 地域活性化対策について

**Q** ①産業団地への企業進出の現状と雇用見込みは。  
②若い世代にとって魅力ある環境の整備は。

**A** (産業部長)  
①企業進出は3社で、5区画が決定しています。  
②若い世代が市内で就職し暮らしていけるよう、産業団地の整備と企業誘致に取組み、雇用の場の確保に努めています。子育て環境の充実としては、保育料の無償化、待機児童の解消や学童保育等への取組み、さらに、屋内こども遊び場や市民病院と併せて整備する船引保育所など、施設の充実に努めます。

## 教育行政について

**Q** 今後の小・中学校再編計画は。

**A** (教育長)  
児童・生徒数の推移などを踏まえ、今後、検討委員会を立ち上げ、小規模校のメリット・デメリットを地域の実情から精査し、保護者や地域住民の意向を集約し、その地域の子供たちにとって最適な学びの場を提供できるよう計画を策定してまいります。

その他  
・令和2年度当初予算について  
質問を行いました。



至誠会  
遠藤 正徳議員

放課後児童クラブの課題は。

学童施設が手狭になってきています。



## 田村市子ども・子育て支援事業について

**Q** ①放課後児童クラブの現状と運営に対する課題は。  
②公募型プロポーザル審査基準には、利用するための地域間格差解消対策が反映されているか伺う。

**A** (市長)

①現在、市内7か所で実施しており、合計445人の児童が登録しています。課題としては、支援員の確保や利用者の増加により学童施設が手狭になってきていることがあげられます。

②放課後児童クラブ運営業務委託では、時間外子ども預かり事業の瀬川、緑、船引南の各小学校を放課後児童クラブに変更し、わかさ学園を除く6か所の放課後児童クラブと事業内容を同一にしており、地域間格差は生じないものと考えます。



放課後児童クラブ

## 台風19号からの復旧・復興について

**Q** ①罹災証明書の交付申請状況と発行状況は。  
②上下水道局から国道288号まで仮設送水管設置により通行止めになっているが、その解消計画は。

**A** (建設部長)

①11月末現在、交付・申請ともに151件で、内訳は、全壊1件、大規模半壊3件、半壊63件、一部損壊のうち半壊に準ずるもの5件、一部損壊のうち10%未満の被害が79件となっています。

②現在は、仮駐車場を設けるなど、沿線住民の利便確保に努めていますが、本年度末を目標に一日も早い復旧と通行止めの解消に努めます。

## 市の出先機関における職員の配置状況について

**Q** 地域住民の声と出先機関職員に対する指示や指導は。

**A** (総務部長)

特に、今回の台風被害のような非常時の態勢確保や連携は、平常時の定期的な打合せや意見交換が重要なため、双方向での報告・連絡・相談体制の確保に努めます。

市民病院建設までのロードマップは。

令和6年春の診療開始を目指します。



市民netたむら  
菊地 武司議員

## 台風19号被害と市民生活について

**Q** ①大滝根川の改修の取り組みは。  
②宅地関連復旧の助成や資材の提供は。

**A** (副市長)

①河川改修は、安久津橋から町尻川合流箇所までの3.3kmを平成18年度までに完了しており、現在、残る安久津橋から市文化センター裏までの区間1.1kmに取り組んでおり、全体の進捗率は75%です。今回の台風19号による氾濫状況を踏まえ、河川改修区間の早期整備の要望と堆積土砂の撤去や応急的な護岸対策などの検討も求めます。

②住宅地とその周辺地の被災に対して20万円以上の土砂撤去等の工事、資材、重機リースに対し5万円を補助します。資材の支給については、すでに応急の被害拡大防止の対応を行っており、今回の被災に対しては行わず、今後の課題として検討します。

## 市民の健康増進について

**Q** 健康づくり市民講座受講者数の推移について。

**A** (保健福祉部長)

開催にあたっては、広報やチラシで広く周知していますが、本年度は、8回の講座のうち4回が終了し、受講者数は、第1回17人、第2回9人、第3回17人、第4回46人となっており、参加人数が見込みより少ないことが課題となっています。

## 新市民病院計画について

**Q** 新市民病院建設までのロードマップは。

**A** (市長)

現在、建設基本計画の策定を進めており、来年度には基本計画をベースとする基本設計を、令和3年度には実施設計を行います。その後、令和4年度から5年度にかけて本体工事及び医療機器の整備を行い、令和6年春の診療開始を目指します。



現在の市民病院



吉田 文夫議員

避難所の箇所数と利用者数は。

15箇所で506人が避難しました。



### 台風19号の災害対策について

**Q** ①避難所及び福祉避難所の箇所数と利用者数は。  
②大雨特別警報発表時の対策は。

**A** (市民部長)

①市で指定する避難所は65か所であり、そのうち15か所開設し、506人の方が避難しました。  
②大雨特別警報は、発令と同時にJアラートシステムと連動し、防災行政無線と防災メールで周知される仕組みとなっており、情報は市民へスムーズに周知でき、必要な行動を促すことができました。

### 生活基盤を守る対策について

**Q** ①地域による施設整備の際の重機、資材への補助は。  
②地域づくりのために行う事業に対する支援策は。

**A** (建設部長)

①各行政区内の人足等で市道や農道などを修繕いただける場合は、砕石や木杭、板材などの資材を各行政区長からの申請により、予算の範囲内で提供しています。なお、重機借上等の補助は行っていません。  
②まちづくり事業を支援する「協働のまちづくり支援事業補助金」や地域課題を解決するための「地域づくり応援事業補助金」などによる支援策の充実を図っています。

### 空き家対策について

**Q** 適切に管理されていない空き家への対策は。

**A** (市長)

現在、改訂を進めている次期都市計画マスタープラン等に関連付けながら、令和2年度に計画を策定する予定であり、安心・安全な住環境確保のため、適切に対策を進めます。



空き家ツアー

その他

- ・所有者不明地の公益対策について
  - ・高齢福祉対策について
- 質問を行いました。

産業団地の残り区画の誘致は。

早期に誘致できるよう努めます。



白石 勝彦議員

### 本市政ビジョンの実行力について

**Q** ①任期中になすべき最優先課題、実施計画は。  
②田村市産業団地に誘致した企業の将来性と残り2区画の誘致の目処は。

**A** (市長)

①田村市総合計画に掲げた施策目標を達成すること。田村市地域創生総合戦略の個別具体的施策の履行による目標人口の向上を図ること。公約の実現もなすべき最優先課題です。これら総合計画及び地域創生総合戦略等の実施計画については、所管する各部署において、その目標に向けて計画的に取り組んでいるところです。  
②誘致企業の将来性については、既に操業実績のある企業のため、地域経済の発展と地域の活性化に大きく貢献いただけると大いに期待しています。残る2区画の誘致については、現在、複数の企業と交渉をしており、早期に誘致できるよう努めます。

### 再生エネルギーの費用対効果について

**Q** ①木質バイオマス発電事業地域協議会・9月会合に出た課題と対策は。  
②電力過剰と言われる中、バイオマス発電の必要性とヘパフィルターによる発電効率の費用対効果は。

**A** (産業部長)

①第1回地域協議会で質問のあった工事スケジュールや放射線量測定の開始時期などについての回答があったほか、燃料チップの受入体制や周辺環境への影響などの課題について協議されました。  
②県では2040年頃を目途に、県内エネルギー需要量の100%以上に相当するエネルギーを再生可能エネルギーで生み出し、一次エネルギーからの転換を目指しており、時代の要請に合致するだけでなく、木材資源を循環させ、将来に渡って維持していくためにも必要な事業と認識しています。また、事業者からは、ヘパフィルターの有無が発電効率に影響を及ぼすことはなく、住民の安心確保のためには必要なものとの認識であると伺っています。



第2回地域協議会





日本共産党  
木村 高雄議員

イノシシの被害防止対策は。

総合的、広範囲な対策を実施します。



### 食の安全性について

**Q** 輸入小麦で作られたパンから発がん性の疑いのある除草剤が検出されていることから、給食パンの検査を行うべきでは。また、県に輸入小麦の検査を求めるべきでは。

**A** (教育長)  
市が提供する給食パンは、県学校給食会から購入しており、小麦粉は検定に合格したものが使用されています。また、輸入小麦は、農林水産省で農薬の残留検査を実施し安全性が確認されています。

### イノシシ対策について

**Q** ①個体数を減少させるための被害防止対策は。  
②狩猟者の捕獲意欲を高めるため、狩猟捕獲の助成金を引き上げるべきでは。

**A** (市長)  
①平成29年に策定した鳥獣被害防止計画に基づき、捕獲の担い手の育成・確保、機材や被害防止機材の整備に継続して取り組むとともに専門員を雇用し、総合的、広範囲な対策を実施します。  
②1頭あたり2万円の報奨金と5,000円の埋め立て処分料を交付しており、今のところ助成金の引き上げは考えておりません。



有害鳥獣対策実施隊

### 台風19号について

**Q** ①水没した農機具への補助は。  
②河川氾濫などで集積した稲わらの処理は。

**A** (市民部長)  
①農機具の再取得・修繕経費について、基本的に国が3/10、県が4/10の補助率で支援します。また、条件により国の補助率は最高5/10まで引き上げられます。  
②堆積場所から指定された集積所までの運搬経費について1㎡あたり5,000円が国から交付されます。

基本計画策定の進捗状況は。

年度内の計画策定に努めます。



三瓶 恵美子議員

### 田村市中小企業及び小規模企業振興基本条例について

**Q** 基本計画策定の進捗状況は。

**A** (産業部長)  
現在、素案作成を進めており、関係団体と内容を協議・検討し、年度内の計画策定に努めます。

### 台風19号によるフレコンバッグ流失について

**Q** ①除染廃棄物の数と線量等、環境への影響は。  
②除染廃棄物の搬出状況と今後の流失対策は。

**A** (市民部長)  
①今回流出した一時保管所には1,765袋が保管されていました。河川沿いの線量については、一時保管所から古道川ダムまでの河川沿い8か所で空間線量の測定、河川5か所で水質検査を行いました。いずれも問題のない範囲でした。  
②除染廃棄物の輸送は中間貯蔵施設に11万633袋、葛尾村の仮設焼却施設に6万1,513袋を輸送し、現在の残数は16万1,297袋です。その他の一時保管所については再点検し、河川等に隣接し流出が懸念される2か所については、当面の再発防止策として、ロープやブルーシートによる固定を行っております。

### 特産品と地域づくりについて

**Q** ①6次化産品に携わる団体などの活動内容は。  
②各団体同士の交流や研修の場を提供し、特産品の開発や地域づくりに結び付ける考えは。

**A** (市長)  
①エゴマの普及・生産拡大に取り組む「田村市エゴマ生産振興協議会」、エゴマ油の加工・販売に取り組む「船引町生活研究グループエゴマ部」、6次化商品開発等に取り組む若手農業グループ「アグリクリエイターズたむら」へ各種支援を行っています。  
②各種研修会などの参加や県内外でのイベント出展を支援し、幅広い情報交換の場を提供することで、6次化産品の開発を促進しています。今後は、ブランド産品認証委員会を開催していく中で、団体等の自立に向けた経営基盤の強化をサポートします。



イベント出展  
(船引町生活研究グループ)



土屋 省一議員

ハザードマップの見直しは。

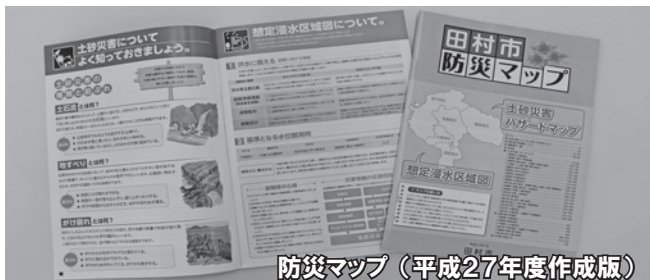
来年度に改訂版防災マップを作成します。



### 防災対策の強化整備と見直しについて

**Q** ハザードマップを含め災害対策全般について早急に見直すべきでは。

**A** (市民部長)  
来年度には、県の土砂災害警戒区域などの基礎調査に基づく情報を盛り込み、改訂版防災マップを作成し、全世帯へ配布したいと考えています。



防災マップ（平成27年度作成版）

### 田村市人口ビジョン並びに田村市地域創生総合戦略について

**Q** ①人口ビジョンの目標人口2040年33,000人達成への現状と見直し。  
②次期総合戦略策定の課題解決に向けた対策は。

**A** (総務部長)  
①現状での人口推移は、年間約600人のペースで減少しており、あと5年程度で33,000人を下回る見通しとなっています。  
②これまでの3つの重点項目に、関係人口の創出分野を4つ目の重点項目として加え、次期総合戦略では、この4つの重点項目を基本に施策のKPI（※4）を設定し、目標人口の達成に向け取り組めますが、具体的施策については、有識者等の意見を参考とし、課題解決に資するような施策化を進めます。

### 地方公共交通網形成計画について

**Q** 課題解決策として、自動運転の実証実験の場の提供や支援策を積極的に行うべきでは。

**A** (市長)  
国ではMaas（※5）の実証実験やAI等、技術の確立に向けての実証実験の公募を行っており、選定基準などを精査し、今後の公募の動向を注視します。また、これら先端技術等の活用は市の新たな公共交通を再考する機会であり、今後、市内主要拠点を巡回するバスの運行やAIを使った運行システムの導入と有機的につながっていくよう検討します。

その他  
・「デュアルスクール」について質問を行いました。

※4 企業などが一定の目標達成に向かってその過程が順調に進んでいるかどうかを点検するための、もっとも重要な指標。

生産農地再生支援施策の申請は。

相談窓口を設け対応しています。



公明党  
渡邊 照雄議員

### 防災・減災・復興について

**Q** ①台風19号及び21号の集中豪雨の被害状況は。  
②生産農地再生支援施策の申請状況は。

**A** (市民部長)  
①建物は240棟の被害、市道、河川の公共土木施設は、1,757箇所、23億5,381万円、農地・農林業施設は、1,293箇所、24億100万円、農作物、農業生産施設、商工業分野では18事業者に浸水被害が生じています。  
②現在、農林課及び各行政局産業建設課に相談窓口を設け対応に当たっています。

### 災害時避難所対策について

**Q** ①避難所対象施設の耐震化は。  
②体育館等の活用状況と暑さ対策は。

**A** (市長)  
①市内65か所の避難所は、耐震診断の結果、耐震性に問題のない施設や、昭和57年以降に建設された新耐震基準を満たしています。  
②避難所のうち体育館は22施設であり、年間を通してスポーツ団体等で利用されています。暑さ対策を講じているのは総合体育館のみです。



田村市総合体育館

### 市役所業務の効率化について

**Q** ①時間外勤務の現状は。  
②働き方改革の観点からRPA（※3）の導入は。

**A** (総務部長)  
①市役所全体で、平成29年度が28,545時間、昨年度が33,637時間であり、両年とも一人当たり年間80～90時間、月平均では7～7.5時間の状況です。  
②総務省の「自治体AI共同開発推進事業」への参加を検討し、導入効果が高いと思われる業務において効果検証を行ってまいります。

その他  
・耕作放棄地対策について質問を行いました。

※3 人間のみが対応可能と想定されていた作業などを人間に代わって実施できる認知技術を活用して代行・代替する取り組み。



半谷 理孝議員

ヤスデ対策の薬剤購入等の補助は。

薬事法違反のため、考えていません。



## 台風19号による被害について

Q 断水の要因及び今後の対応は。

A (建設部長)

断水の要因は、大滝根川及び牧野川の氾濫による送水管橋の流失、水源と浄水場を結ぶケーブルと電柱が損壊したことなどによるものです。現在は仮設送水管の布設や部品の交換等により復旧し、給水には支障ありません。今後は仮復旧中の送水管橋、通信装置等の本復旧を年度内に完了するよう進めます。



仮設送水管  
(船引町南町通地内)

## ヤスデ対策について

Q ①現状と対応は。

②薬剤の購入等の補助の実施は。

A (市民部長)

①大越町と船引町の一部で発生を確認しており、本年から福島大学と市が共同で調査、研究を実施することで、市内に生息しているのは、エゾフジヤスデと判明し、その習性等も解明されてきています。  
②殺虫剤の配布は厚生労働省から「薬事法違反であり、健康被害をもたらす可能性の高い危険な行為」として中止の指示があり、配布を断念し、補助についても薬事法上の指摘があるため考えていません。

## 危険木対策について

Q 現状と今後の対応は。

A (建設部長)

枯損木や台風などによる倒木対策は、原則として山林所有者が行うこととなっておりますが、道路沿線で車両や歩行者の通行に支障を来している場合、早急な対応が必要となるため、山林所有者が対応できない場合に限り、市が代行して伐採等を行っております。今後においては、危険木除去の責任が所有者にあることを啓発するとともに、被害が生じないよう迅速な対応に努めてまいります。

### その他

・資源ごみの活用について質問を行いました。

具体的な治水対策は。

復旧計画を勘案し、今後検討します。



照山 成信議員

## 台風19号被害対策について

Q ①市の具体的な治水対策は。

②100年に1度と思われる今回の水害の記録を後世に伝える考えは。

A (市長)

①県管理河川は、現在、河川改修を実施している大滝根川の改修工事の早期完成の要望と、市内河川の堆積土砂撤去の進捗も併せて要望します。また、市管理河川や水路の整備は、常日頃の状況把握と維持管理はもとより、今回の被害を受け、復旧計画を勘案しながら、今後の整備計画を検討します。  
②今回の災害対応での課題や反省点を教訓とした防災、減災対策を進めるとともに、船引小学校や文化センターの浸水した公共施設に浸水した水位の表示をするなど検討します。



浸水した文化センター内  
(2019/10/13 撮影)

## 小学校の令和2年度からの英語教育について

Q ①文科省が求める学習到達目標の明確化への対策は。

②児童に対する新教科の周知は。

A (教育長)

①中学・高校ごとに、学習指導要領に基づいた学習到達目標を「CAN-DOリスト(※6)」形式の一覧表にして、年間指導計画を作成・活用しています。今後は、小学校版の「CAN-DOリスト」を作成し、段階的・系統的な学習到達目標を明確化します。  
②小学校では、平成23年度から5・6年生で「外国語活動」が既に必修化されており、来年度から「外国語科」年間70時間、3・4年生では「外国語活動」が追加されます。また、本年度までの2年間は移行期間とし、5・6年生で外国語科の内容の前倒し、3・4年生で外国語活動を前倒して学習しており、児童に対する周知は2年間の移行期間で計画的かつ段階的に行われ、実践されています。

### その他

・市道三合内線の拡幅改良について質問を行いました。

※6 学習の到達目標を「～することができる」という形で指標化し、英語を使って具体的に何ができるようになったのかを明確化するもの。

※5 バス、電車などの公共交通機関を、ITを用いて、人々を効率よく、かつ便利に使えるようにするシステム。

# 請願・陳情のお知らせ

請願とは、憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為で、必ず紹介議員を要しますが誰でも提出することができます。陳情とは、事実上の行為として議員の紹介なしで提出するものです。

## ○請願（陳情）書の書き方と提出方法

請願書などは、議会事務局へ直接持参してください。なお、定例会開会の5日前（土日祝日を除く）に開かれる議会運営委員会前日午後5時までに受付したものは、当該定例会で審議するかどうかを議会運営委員会で判断しますが、それ以降に受付したものは、次の定例会前の議会運営委員会で審議するかどうか判断することになります。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

※意見書提出を求める場合は、意見書の案文を添付願います。

## 【記載例】

請願（陳情）書  
令和〇〇年〇〇月〇〇日  
田村市議会議長 〇〇〇〇 様  
請願者 住所 〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
(陳情者) 氏名 〇〇〇〇〇 印  
(連絡先) 電話番号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
紹介議員 〇〇〇〇 (署名又は記名押印)  
※陳情の場合は不要  
(件名) 〇〇〇〇について  
請願（陳情）要旨 〇〇〇・・・  
請願（陳情）事項 〇〇〇・・・



部活動協力員の今後の配置は。

増員できるように県に要望します。



石井 忠治議員

## 教育行政の検証と新年度に向けた取り組みについて

Q ①重いランドセルの改善は。  
②中学校の部活動協力員の配置と成果、今後の配置計画は。

A (教育長)  
①国からの通知に基づき、家庭で使用することがない教材を学校に置いたり、長期休業後の学習用具は分散して持参させるなどの対応をしています。  
②本年度は、中学校6校中2校に3人を配置しています。来年度は、学校からの配置希望をもとに3校6人に増員できるように県に要望する考えです。

## 台風19号被害と復旧・復興について

Q ①常葉町川久保頭首工の被害と復旧計画は。  
②冠水した地区集会所に対する支援は。

A (市民部長)  
①被害は堰本体部流失10m、右岸上流部の護岸石積み破損34m、取水樋門破損及び用水路破損10mなどです。地域への影響も大きいことから、地域の意向も確認しながら仮設ポンプを設置するなど、来季の作付に間に合うよう復旧計画を立てます。  
②氾濫により床上浸水した集会所は4施設で、公共性、公益性を考慮し、50万円を限度に復旧工事費の1/3を見舞金として支給する予定です。



常葉町川久保地内の被災箇所

## 道の駅整備計画について

Q 全体計画と進捗状況は。

A (市長)  
「休憩機能」として利用しやすい駐車場や24時間利用可能なトイレ、「情報発信機能」として観光情報ブース、「地域連携機能」として農産物等販売所、レストラン、防災施設を設ける計画です。現在、具体的な内容検討を行うための準備を進めるとともに11月末に敷地造成設計のための地形測量を発注しました。今後、運営管理体制の検討や建築基本設計を進め、令和5年度末の運用を目指します。

## 議会事務局からのお知らせ

田村市議会のホームページでは、議会に関する各種情報を公開しています。定例会等の開催日程や会議録など最新の情報をご覧になることができます。

### ☆議会中継をインターネットにより動画配信しています！！

田村市議会では、インターネットを活用し、本会議中継を動画配信（ライブ及び録画）しております。市のホームページからアクセスしていただくと、代表質問や一般質問などの映像をご覧いただくことができます。

なお、ライブ配信は議会開催中に、録画配信は議会閉会后1週間程度でご覧になることができます。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

### ☆市民の声を募集しています！！

議会や市政全般に対するご意見・ご要望などを360字程度で住所、氏名をご記入いただき、顔写真を同封（添付）して持参、郵送、メールにより議会事務局までご寄稿ください。

なお、ご寄稿していただきました原稿について、「市民の声掲載基準」に基づき、掲載の可否を判断いたします。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。



### ☆市政だより、議会だよりをスマホ用アプリ『マチイロ』でご覧いただけます！！

「たむら市政だより」、「たむら議会だより」をもっと多くの皆さんに読んでいただけるよう、スマートフォン用アプリ「マチイロ」を導入しました。この無料アプリをダウンロードすると、いつでもどこでもスマートフォンなどで「市政だより」や「議会だより」を読むことができます。

ダウンロード方法など詳しくは「マチイロ」のホームページをご覧ください！



☆アドレス☆ <http://machihiro.town/>



## ★小中学生のみなさん議会を傍聴してみませんか★

学校の社会科学習の一環として、市議会本会議を傍聴してみませんか？

市議会の本会議はどなたでも傍聴することができます。小中学生の皆さんが傍聴を希望する場合は、学校を通じて事前に申込み必要がありますので、議会事務局までお問い合わせください。



12月定例会を傍聴した美山小学校6年生の皆さん

### 議案13件を審査し、すべて可決すべきものと決定

#### 12月定例会委員会審査

総務文教常任委員会には、条例の制定2件、条例の一部改正9件、財産の無償貸付1件及び指定管理者の指定1件の議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

#### 会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例

- 問** 会計年度任用職員の期末手当の支給は。
- 答** (総務課)  
会計年度任用職員は一年間継続して雇用できるため、一定時間勤務する者については支給します。

#### 指定管理者の指定

- 問** 指定管理者の選考基準は。
- 答** (生涯学習課)  
田村市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第2条により募集要項を作成し、公募を行い、同条例4条の選定方法及び選定基準により、指定管理者選定委員会にて審査を行いました。
- 問** 指定管理料が増額になる理由は。
- 答** (生涯学習課)  
従来の指定管理業務に、新たにスポーツ教室や運動教室等の業務を加え、運動施設を有効活用する事業を展開する事業経費を含めたためです。

#### 財産の無償貸付

- 問** 旧石森小学校の無償貸付による成果は。
- 答** (教育総務課)  
施設内に、現在10社が入居しており、そこで働いている方で1か月以上の長期滞在者が16名、うち移住者が6名となっています。

#### 所管事務調査

12月10日に、「台風19号による教育施設の被害状況調査」について、現地調査を実施しました。



船引小学校校舎裏

### 議案4件を審査し、すべて可決すべきものと決定

#### 12月定例会委員会審査

市民福祉常任委員会には、条例の一部改正2件、工事請負契約2件及び指定管理者の指定1件の議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、陳情1件の審査も行われ、継続審査すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

#### 指定管理者の指定

- 問** 「針湯荘」の指定管理者のサービス内容は。
- 答** (高齢福祉課)  
宿泊を含めた現状のサービスを始め、類似した温浴施設の運営経験を活かした魅力ある施設サービスを期待できます。

#### 国民健康保険税条例の一部改正

- 問** 今回の改正により、新たに減免の対象となる世帯数及び見込み額は。
- 答** (市民課)  
一部減免に該当する世帯数は34世帯であり、減免にかかる金額は、90万円程度を見込んでいます。

#### 汚泥再生処理センター建設工事請負契約

- 問** 建設場所はどこになるのか。
- 答** (生活環境課)  
建設場所については、大滝根水環境センターの敷地内となっています。
- 問** 財源の確保は。
- 答** (生活環境課)  
財源については、循環型社会形成推進交付金及び震災復興特別交付金を見込んでいます。



汚泥再生処理センター建設予定地  
(写真奥：管理棟 写真右：下水道処理施設)

## 議案3件を審査し、すべて可決すべきものと決定

産業建設常任委員会

委員長 照山 成信

### 12月定例会委員会審査

産業建設常任委員会では、工事請負契約3件の議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

#### 東部産業団地街区2号線道路改良工事請負契約

問 工期、入札者数は。

答 (商工課)  
工期は、令和元年12月13日から令和2年12月18日までとなっています。入札者数については、2社となっています。

問 入札における落札率は。

答 (商工課)  
入札における落札率は、94.97%となっています。

#### 東部産業団地調節池設置工事(1工区)請負契約

問 工期及び入札者数は。

答 (商工課)  
工期は、令和元年12月13日から令和2年12月18日までとなっています。入札者数については、1社となっています。

#### 東部産業団地調節池設置工事(2工区)請負契約

問 工期及び入札者数は。

答 (商工課)  
工期は、令和元年12月13日から令和2年12月18日までとなっています。入札者数については、2社となっています。

#### 所管事務調査

12月10日に、「上水道の復旧状況」について、現地調査を行いました。



上下水道局

## 議案16件を審査し、すべて可決すべきものと決定

予算常任委員会

委員長 土屋 省一

### 12月定例会委員会審査

予算常任委員会には、令和元年度各会計補正予算議案16件が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

#### 一般会計補正予算

問 船引保育所の建設は。

答 (こども未来課)  
市役所内関係各課から職員を選定し、各課の意見等を反映した検討委員会を組織し、船引保育所の建設場所を船引字屋頭清水地内に決定しました。

問 防災情報無線戸別受信機を有償で購入したい場合は。

答 (生活環境課)  
現在は、世帯に1台、戸別受信機を無償で貸与しており、今回の台風が契機となり、2台目を自費で購入し、増設したいとの要望等が出てきていますが、その対応については業者と協議しています。

#### 介護保険特別会計補正予算

問 高齢者生きがい活動促進事業補助金に関して、配食サービス事業を実施するNPO法人の名称は。

答 (高齢福祉課)  
滝根町のNPO法人「サポートたむら」です。

#### 診療所事業特別会計補正予算

問 都路診療所の運営状況は。

答 (保健課)  
本年度より、医師の交代に伴う診療体制の変更があり、11月末現在で、外来診療の件数は、昨年度比で約22%の減となっています。都路診療所の運営には、医師の確保が最重要課題と考えており、今後とも対策に努めていきます。



予算常任委員会審査状況

# ● 議会報告会を開催しました！！ ●

議会報告会は、市民に対し、定例会等で行われた議案等の審査の内容について報告するものです。田村市議会基本条例が施行され、初めての議会報告会が令和元年7月24日から26日の3日間、市内7会場において開催されました。各会場でいただいた意見や要望等は次のとおりです。

## 1班

班長	半谷 理孝
副班長	吉田 文夫
班員	木村 高雄、土屋 省一、白石 勝彦、白石 高司、石井 忠重

### 文化の館ときわ

- ◎合併したことで旧町村の連携がとれておらず、良いことがない。昔のままのほうが良かった。
- ◎河川の桜を観光に使ってほしい。

### 滝根公民館

- ◎三世代交流館を子育てママ達の交流の場にして、お互いの悩み相談などもできるのでは。
- ◎行政局、公民館の職員が減らされ、今後機能しなくなるのでは。



滝根公民館の参加者

### 芦沢農業センター

- ◎総合体育館周辺に宿泊施設がなく、スポーツ大会などを開催しても泊まれるところがない。
- ◎有害鳥獣の駆除は猟友会しか行えないので、市民に対して、被害軽減の指導をしてほしい。
- ◎市の予算の見える化を強化してほしい。



芦沢農業センターの参加者

## 2班

班長	安瀬 信一
副班長	遠藤 正徳
班員	長谷川元行、石井 忠治、大橋 幹一、二瓶恵美子

### 大越公民館

- ◎旧住友大阪セメントの廃棄物を早期に持ち出してほしい。
- ◎防犯灯のLED化による環境への配慮及びボールの更新も併せて行うべきである。
- ◎バイオマス発電事業の安全対策委員会の選任に専門員の任命を求める。



大越公民館の参加者

### 瀬川出張所

- ◎議会報告会への参加者増加のために、市民の声が反映できるような内容にして欲しい。
- ◎出張所の今後のあり方について、地域と十分な協議を行ってほしい。
- ◎防災マップの見直しと災害危険箇所の再検討を迅速に行ってほしい。



瀬川出張所の参加者



## 3班

班長	照山 成信
副班長	猪瀬 明
班員	大和田 博、橋本 紀一、菊地 武司、渡邊 照雄、佐藤 重実

### 都路公民館

- ◎たむら市民病院から都路診療所へ高齢者のために整形外科医の支援を行ってほしい。
- ◎労働人口が減少しているため、外国人労働者の確保はどうか。また、語学研修なども行ってほしい。
- ◎里親制度のPRと制度についてもっとよく理解をしてほしい。



都路公民館の参加者

### 田村市役所

- ◎行政回覧の15日分については、区長や組長に配慮して緊急時のみにしてほしい。
- ◎船引駅駐車場について、無料駐車時間を長くできるように工夫してほしい。
- ◎議会報告会を開催しても参加者が少ないため、もっとPRのやり方を工夫してほしい。



田村市役所の参加者

## 参加した市民からのご意見・ご要望のうち 主なものについて市長あてに文書を提出しました。

- ◎たむら市民病院の診療科目の充実及び診察時間の拡大
- ◎田村広域行政組合からの脱退に伴う清算方法や今後の方向性についての十分な議論
- ◎大越バイオマス発電事業の問題についての、田村市全体で議論
- ◎大滝根川をはじめとする河川の堤防崩壊箇所の修復及び浚渫（※7）の早期実施
- ◎指定管理者制度導入による、利用料の値上げやサービス低下を招かない必要な措置
- ◎遊休施設を有効活用したまちづくりをはじめ、少子高齢化及び鳥獣被害対策の強化
- ◎田村市五大夏祭りをはじめ、市内各イベントの補助額の増額
- ◎職員削減による行政サービスの低下の防止及び行政局、出張所機能の充実
- ◎東部台団地内の駐車マナー啓発の取り組み
- ◎火災発生時の防災行政無線での、個人宅の場合は世帯主名の放送をしてほしい
- ◎英会話放送をスクールバス車内で聞ける児童・生徒と聞けない児童・生徒に差がない配慮
- ◎夏季休暇期間のプール利用時間が地区ごとに異なるため見直しをしてほしい
- ◎常葉町西向地区及び石蒔田地区の国道288号線の一部狭隘（※8）箇所の早期拡幅
- ◎都路地区の中心部等に安心して安全な高齢者世帯向けの集合住宅の整備
- ◎平和通り沿いのプラタナス（街路樹）が育ちすぎ、根の影響で道路状況が悪くなっているため、伐採を含めた早急な対応
- ◎御前池公園の草刈りを含めた環境整備の実施

# シリーズ 市民の声



## 「子どもたちが安心して 帰られる町」

田村市大越町  
えんどう きょうこ  
遠藤 京子 さん

私が生まれた場所は、海が近く雪はあまり降らないとても穏やかなところ。学生の頃、JR磐越東線を利用することがあり、のどかな風景が印象に残っていました。まさか、嫁に来るとは思ってもみませんでした。

長い月日が経ち、様々なことがありました。楽しいこと、嬉しいこと、悲しいことも。2011年3月11日に発生した東日本大震災で、育った家も無くし、父親、叔母、姪までも津波で亡くしました。また、福島第一原発の事故でも大変な思いをしました。娘も県内に住んでいましたが、子どもが小さく心配なため東京に避難しました。最近、夏休みやお正月には帰省してきますが、福島に戻るといことはまだまだ先でしょうね。

放射能に対する騒ぎが収まらない中、大越町にできる木質バイオマス発電所。放射能が風で飛んでくるのでは、農作物や水に影響はないのかなど不安でいっぱい。子どもたちが安心して帰ってこられる町になることを願っています。



# シリーズ 若者の声



## 「田村市の未来づくり」

船引高校2年  
あかいしぎわ なおき  
赤石澤 直樹 さん (船引町出身)

私が在籍している船引高等学校には、総合的な学習の時間という授業があります。現在は「田村市の未来づくり」というテーマのもと、2年生全員で自ら課題を設定し探究活動を行っています。

私は「田村市の人口増加のために」という課題を立てました。友人とグループ活動を進めていく中で、企業誘致や観光促進等について活発な議論を重ねています。その議論を通じて、どれも人口増加のために有益なことだと感じるようになりました。

私は、自分が生まれ育った田村市の自然豊かな環境や人情味あふれるところに深い愛情を持ち、誇りに思っています。授業を通して、未来の田村市について考えることは、自らの今後の生き方を見つめ直す良い機会になりました。



活動の様子

## ☆3月定例会の開催予定☆

3月定例会は下記の日程で開催される予定です。議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。なお、正式には定例会初日に決定されるため、変更になることもあります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

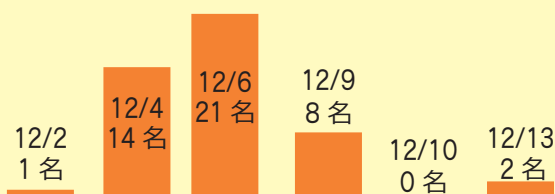
2月27日 (木)	初日 (招集日) 会期の決定、提案理由の説明等議事調査
3月 2日 (月)	代表質問
3月 3日 (火)	一般質問
3月 4日 (水)	一般質問
3月 5日 (木)	一般質問
3月 6日 (金)	総括質疑、議案等の常任委員会付託 各常任委員会審査
3月 9日 (月)	予算常任委員会審査
3月10日 (火)	〃
3月11日 (水)	〃
3月12日 (木)	〃
3月16日 (月)	〃
3月17日 (火)	〃
3月19日 (木)	最終日 各常任委員会審査結果報告、質疑、討論、採決



令和元年12月定例会の傍聴者

議会だよりへのご意見・ご要望をお寄せください！！

12月定例会は、延べ46人の方が傍聴されました。



〈委員長〉 白石 勝彦  
〈副委員長〉 二瓶恵美子  
〈委員〉 白石 高司  
安瀬 信一  
渡邊 照雄  
木村 高雄

☆田村市議会ホームページアドレス☆

<http://www.city.tamura.lg.jp/site/gikai/>



◆発行責任者：議長 大和田 博  
◆編集：議会広報委員会  
◆印刷：イシイ印刷